

祈りの家としての召会（キリストのからだ）を通して  
神にささげられる時代の祈り

聖書：イザヤ 56:7. マタイ 18:18-19. マルコ 11:17 前半. エペソ 1:20-23. 2:6

- I. 時代の祈りは、キリストのからだとしての召会の祈りであり、すなわち、昇天の主またからだのかしらとしてのキリストの権威を行使する祈りであり、神のエコノミーを成就します——イザヤ 45:11. 62:6-7. エゼキエル 36:37. マタイ 18:18-19 :
- A. キリストの昇天は、贖いの働き全体が完全に達成されたことを示します——ヘブル 1:3. 10:12 :
1. キリストの昇天は、キリストの主としての身分が確立されたことを示します——使徒 2:36。
  2. キリストは、神によって高く上げられ、宇宙の主として立てられ、召会に対して万物の上にかしらとされました。万物は彼の足の下にあり、彼が獲得し、到達したあらゆるものは、召会、すなわち彼のからだに伝達されています——エペソ 1:22-23。
- B. 召会はキリストのからだであるので、召会の地位はキリストの地位と全く同じです。からだはかしらと一であるので、からだの地位はかしの地位と全く同じです——I コリント 12:12, 27. エペソ 5:30。
- C. からだの権威は、からだによって行使されるかしの権威です。こういうわけで、からだの権威は、かしの権威です——コロサイ 1:18. 2:19。
- D. 時代の祈りは、個人の信者の祈りではなく、キリストのからだとしての召会の祈りです——使徒 12:5 後半. 啓 8:3 :
1. このような種類の祈りにおいて、わたしたちは主にわたしたちのために何かをしてくださるようにと請い求めたりしません。そうではなく、わたしたちは、主が獲得し、到達したものを要求します。主は、天上で神の右に座しており、すべての支配、権威、力、主権、そして唱えられるあらゆる名を超えて、はるかに高くされています——エペソ 1:20-21。
  2. わたしたちは、昇天において主が獲得したものにしがって祈るとき、主の昇天の地位を取って、彼の主としての身分をこの世の現在の状況に適用することができます——2:6。
  3. からだは天のかしらと一であるので、からだは天ですすでに縛られたり解かれたりしているものを、地上で縛ったり解いたりする権威を持っています——マタイ 16:19. 18:18。
- E. このような祈りの中へと完全に入り込んで、かしらによってからだへと与えられた権威を行使することができるようになるためには、わたしたちは、自分がからだの肢体であることを認識する必要があります。またわたしたちは、からだの中で生活し、活動し、行動しなければなりません——ローマ 12:5. I コリント 12:12-27。
- II. 召会、キリストのからだは、祈りの家です——イザヤ 56:7. マルコ 11:17 前半. ヨハネ 2:16-17, 19-21. 14:2. ヘブル 3:6 :

- A. 神の宮としての召会、すなわち祈りの家の中で、わたしたちは、神の願いの成就、神のみこころの遂行、神のエコノミーの達成のために祈ります——列王上 8:48. ダニエル 9:1-23. ヨハネ 15:7. マタイ 6:10. エペソ 3:14-21. 5:27. 啓 14:1. 21:2。
- B. 祈りの家の中で、わたしたちは祈りの人として生き、仕えて、神聖で奥義的な領域の中で奥義的な神に対して祈ります——ルカ 5:16. ヨハネ 6:57. 14:9-10, 20。
- C. 神の宮としての召会、すなわち祈りの家の中で、わたしたちは、神の願いと思いにしたがって祈ります。そのような祈りは、尊く、重みがあり、ハデス [陰府] の門を揺り動かし、サタンに影響を与えます——ダニエル 9:1-23。
- D. 神を喜ばせる祈りは、神のみこころの達成と神の働きの完成を求める祈りです——マタイ 6:10. コロサイ 1:9. 4:12. イザヤ 45:11. 62:6-7. エゼキエル 36:37。
- E. 祈りの家におけるわたしたちの祈りは、神のエコノミーの成就のためであるべきです——列王上 8:48 :
1. 聖なる地、聖なる都、聖なる宮は、神のエコノミーに関する三つの極めて重要な事柄です :
    - a. キリストはわたしたちの良き地です。キリストはわたしたちの都、わたしたちの王国です。キリストは宮、神の住む場所です。
    - b. わたしたちの祈りは、聖なる地、聖なる都、聖なる宮を目当てとすべきです。これが意味することは、わたしたちの祈りが、神の権益、すなわち、地上における神の権益であるキリストと召会を目当てとすべきであるということです——エペソ 1:16-23. 3:14-21。
    - c. ダニエルは、エルサレムに向かって窓を開けることによって、聖なる地、聖なる都、聖なる宮のために祈りました——ダニエル 6:10。
  2. わたしたちは正しく祈るために、主イエスの御名の中で神に祈り、神のエコノミーのための神の権益を目当てとしなければなりません。イエスの御名の中で祈ることは、地上における神の権益のために祈ることです。地上における神の権益はキリストであり、彼はわたしたちに対する神の分け前、神の王国、神の住む場所です——ヨハネ 14:13-14. 15:16. エペソ 2:21-22. 3:8. コロサイ 1:12-13。
- F. キリストは彼の天の務めにおいて、とりなし、供給し、神の行政を執行しています。わたしたちは、神の宮としての召会、すなわち祈りの家の中で祈ることによって、キリストの天の務めにおける活動に対して応答する者たちとなる必要があります——ヘブル 2:17. 4:14. 7:25-26. 8:1-2. 啓 5:6. コロサイ 3:1-4 :
1. わたしたちの祈りを通して、かしらであるキリストは道を得て、彼のからだを通して彼の行政を遂行します。かしらが天で働いて、とりなし、供給し、行政を執行しているとき、からだであるわたしたちは地上で働いて、キリストの天の務めに応答し、彼が行なっている事を反映しています——コロサイ 1:18 前半. 2:19. 3:1-2. ヘブル 2:17. 4:14. 7:25-26. 8:1-2. 啓 5:6。
  2. もしわたしたちが上にあるものを求めて、キリストと一つの命また一つの生活を持つなら、わたしたちは完全に主の権益で占有されます。わたしたちの心は、天の彼と共にあります。そこにおいて彼は、諸召会のためにとりなしており、聖徒たちを供給しており、神の統治を執行しています——コロサイ 3:1-4, 17。

- G. 祈りの家としての召会における祈りは、昇天の地位にあります。このような祈りの地位があるところには、祈りの権威があります。わたしたちが天的な地位と権威を持つとき、わたしたちの祈りは、神の行政となり、神のみこころを執行することになります。これが、召会の優勢な祈り、すなわち、時代の祈りです——エペソ 1:22-23, 2:6. マタイ 6:9-10, 13 後半。
- H. 祈りの家としての召会の中で、わたしたちは執行する方法で祈って、すでに天で縛られていたものを地上で縛り、すでに天で解かれていたものを地上で解きます。これがからだの祈りです。わたしたちは「調和一致」して求めるときはじめて、このような祈りを持つことができます——マタイ 18:18-19。
- I. 祈りの家としての召会の中で、わたしたちはキリストのとりなす生活にあずかって、神聖な行政の中心で祈ります——啓 8:3. ヘブル 7:25. ローマ 8:26-27, 34。
- J. 祈りの家における祈りの中心的な題目と目標は、キリストのために栄光の召会を備えることです。すなわち、彼に符合し、彼の心の願いを満たす召会を備えることです——エペソ 1:5, 9. 3:14-21. 5:27。
- K. 主の回復は、シオン（新エルサレムにおいて究極的に完成するキリストのからだの実際）を建造することです。そしてわたしたちは、祈りの家としての召会の中で祈ることによって、シオンに到達します——エペソ 4:16. 啓 14:1. 21:2。